

《日本経済見通しシリーズ No.2016-7》

2016～2018年度改訂見通し

— 官公需の下支えと民需の持ち直しで、緩やかな景気回復が続く見込み —

- (1) 2016年10～12月期の実質GDPは、前期比年率+1.0%（前期比+0.2%）と4四半期連続のプラス成長。需要項目別にみると、生鮮食品の高騰に伴う家計の防衛意識の高まりなどを背景に、個人消費は弱い動きとなったものの、輸出や設備投資が高めの伸びとなるなど、**企業部門の回復が明確化**。
- (2) こうした景気の現状に加え、①製造業や卸・小売業における在庫調整の進展、②昨年末からの円安の進行、③研究開発（R&D）支出の設備投資への計上などGDP統計の基準改定に伴う潜在成長率の上振れなどを踏まえ、**見通しを前回から上方修正**。
- (3) 先行きを展望すると、①円安に伴う企業収益の上振れや、②都心部での再開発や宿泊施設など非製造業の建設投資、③人手不足などを背景とした雇用所得環境の改善、が景気下支えに作用。経済対策に伴う公共投資の増加もプラスに作用するため、**景気回復基調が続く見込み**。企業部門における国内の過剰設備や、家計部門における社会保険料負担の増加・将来不安の強まりなどが、設備投資・個人消費の抑制に作用するものの、2016～18年度の成長率は、**+1%をやや上回る緩やかな成長ペースが続く見通し**。
- (4) もっとも、トランプ米大統領の政策運営や、英国のEU離脱、欧州大陸諸国の選挙など、海外の政治動向は不透明感が強く、**マーケットの変動などが景気を下押しするリスクには注意が必要**。

わが国経済・物価見通し

(前期比年率、%、%ポイント)

	2016年		2017年				2018年				2019年	2015年度			
	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	(実績)	(実績)	(予測)				(予測)				(実績)	(予測)			
実質GDP	1.4	1.0	1.2	1.5	1.3	0.9	0.9	1.1	1.3	1.3	1.2	1.3	1.2	1.3	1.1
個人消費	1.3	▲0.0	0.5	0.7	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.5	0.6	0.6	0.7
住宅投資	9.9	0.7	▲4.9	▲5.6	▲4.1	▲2.4	0.3	0.5	0.6	0.8	1.0	2.7	6.0	▲2.8	▲0.1
設備投資	▲1.3	3.8	3.0	2.9	2.8	2.8	3.1	3.2	3.4	3.2	3.0	0.6	1.9	2.8	3.1
在庫投資 (寄与度)	(▲1.1)	(▲0.5)	(0.2)	(0.1)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.3)	(▲0.2)	(▲0.1)	(0.0)
政府消費	1.0	1.6	1.0	1.0	1.0	1.1	1.1	1.2	1.2	1.2	1.2	2.0	0.8	1.1	1.2
公共投資	▲2.9	▲6.9	5.8	14.7	8.3	▲2.7	▲4.6	▲2.1	1.6	0.4	▲1.2	▲2.0	▲1.8	4.5	▲1.0
公的在庫 (寄与度)	(▲0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(▲0.0)	(0.0)	(▲0.0)	(0.0)
輸出	8.5	11.0	2.4	2.3	2.5	2.7	2.8	2.8	2.9	3.0	3.0	0.8	2.7	3.8	2.8
輸入	▲1.0	5.4	2.8	2.7	2.5	2.4	2.2	2.2	2.3	2.3	2.3	▲0.2	▲1.0	2.7	2.3
国内民需 (寄与度)	(▲0.3)	(0.0)	(0.8)	(0.7)	(0.8)	(0.8)	(0.9)	(0.9)	(0.9)	(1.0)	(0.9)	(0.8)	(0.5)	(0.6)	(0.9)
官公需 (寄与度)	(0.0)	(▲0.0)	(0.5)	(0.9)	(0.6)	(0.1)	(▲0.0)	(0.1)	(0.3)	(0.3)	(0.2)	(0.3)	(0.1)	(0.4)	(0.2)
純輸出 (寄与度)	(1.6)	(1.0)	(▲0.0)	(▲0.0)	(0.0)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.2)	(0.6)	(0.2)	(0.1)

(前年同期比、%)

名目GDP	1.0	1.6	1.2	1.3	1.6	1.6	1.6	1.3	1.4	1.6	1.8	2.8	1.3	1.5	1.6
GDPデフレーター	▲0.1	▲0.1	▲0.1	0.1	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.5	0.5	1.4	0.0	0.3	0.4
消費者物価指数 (除く生鮮)	▲0.5	▲0.3	0.2	0.5	0.8	1.0	1.0	1.1	1.1	1.1	1.2	0.0	▲0.3	0.8	1.1
完全失業率(%)	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	3.3	3.1	3.0	2.9
円ドル相場(円/ドル)	102	109	114	113	114	115	115	116	116	117	117	120	108	114	117
原油輸入価格(ドル/バレル)	46	46	54	54	57	59	60	61	62	63	64	49	47	58	63

(資料)内閣府、総務省などを基に日本総研作成

【ご照会先】調査部 副主任研究員 村瀬拓人 (murase.takuto@jri.co.jp, 03-6833-6096)

《日本経済見通しシリーズ》は、直近四半期のGDP速報の内容を解説するとともに、向こう1～2年先のGDP成長率、および物価などの見通しを示すものです。四半期別GDPの1次速報と2次速報の公表を踏まえたうえで、年合計8回発表します。